

【年間テーマ 抑制の取り組みと教育】

平成 27 年 8 月 13 日提出

日付	平成 27 年 8 月 8 日 (土)			
場所	ホテルセントラーザ博多		記録者名：沖 ひろ子	
出席者 (敬称略)	北九州湯川病院 森 千津子	松尾内科病院 八田 恵美	緑ヶ丘病院 福重 友美	北九州中央病院 坂本 清美
	東福岡和仁会病院 倉内 章子	水戸病院 岡部 孝子	福岡和仁会病院 中島 文江	社会保険稲築病院 沖 ひろ子
テーマ	困った事例について意見交換、ミトン使用者に対して工夫していること			
結論	ミトン使用していない病院が 2 病院あり、 転院時にカンファレンスし、家族に協力を得る、注入時間や方法検討 半固形での注入を検討、経鼻から PEG へ検討 ミトン使用病院は患者の目や手に届かない工夫、 袖やズボンの下にルートを通す、人形付き手袋やヘチマの活用			
決定事項	人形付き手袋やヘチマ (百均)、軍手 (百均) 薄手を各病院で試してみる 半固形注入を検討			
備考				
次回討論項目	8 月の検討結果の報告、抑制が適切に行われているか、評価方法・記録など持参			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@fukuokakenryo.jp

(FAX.092-691-3961)